

【全体概要】

富山県では、主穀作経営等の複合化品目としてストックを花き重点推進品目に位置づけており、近年では主にスプレー系品種を中心に水稲育苗ハウス等を活用した施設栽培を推奨している。市場等の実需者からは、スプレー系品種の年内需要期の契約的取引を提案されているが、9月に低温に遭遇することによる早期短茎開花や冬期の低温による開花遅延など、気象変動の影響を大きく受けることが多くなっている。また、1~3月出荷体系では、冬期の低温で凍害が発生し、採花率や切り花品質の低下などが課題となっている。そこで、スタンダード系品種で報告されている遠赤色LED電照(EOD-FR処理)による開花促進技術を活用した年内需要期出荷と、自然低温遭遇による凍害回避技術を活用した1~3月期出荷の安定生産技術を確立する。

新品種・新技術等の概要

□スプレー系ストックの遠赤色LED電照技術による年内需要期の安定出荷

○検証品種 カルテットシリーズ「ホワイト」「チェリー」「マリン」

○検証内容

遠赤色LED電照(EOD-FR処理)による開花促進効果検証

電照条件 遠赤色LED電球11W、3m間隔、  
高さ1.5~2m、日没後16時間日長処理

電照期間

8月	10月			11月			12月		
下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
は種 8/20	電照1区 (10/10-11/10)			電照2区 (11/15-12/15)					



遠赤色LED電照による開花促進

「カルテットホワイト」の開花状況

区	開花 始め	平均 開花日	開花 終了	切花長 (cm)	主茎長 (cm)	第一分枝長 (cm)	葉数 (枚)	分枝数 (本)	重量 (g/本)
慣行区	12/17	1/1	1/15	77.0	54.8	22.4	33.3	5.0	93.8
電照1区	12/23	1/2	1/20	80.3	59.4	21.0	39.1	5.0	94.4
電照2区	12/3	12/12	12/25	77.7	51.9	25.5	30.8	4.0	72.7

□凍害回避技術による冬期の安定出荷

○検証品種 同上

○検証内容

自然低温遭遇による凍害の発生状況  
ハウス開放期間 10/10~12/30

品種名	草丈 (cm)	葉数 (枚)	開花 始め日	平均 開花日
ホワイト	79.9	34.7	2/20	2/26
チェリー	79.2	34.4	2/23	-
マリン	77.3	39.3	2/26	-

主な取組内容

【検討会】

・実証ほの設計・現地検討会・成績検討会の開催

【技術の現地実証】

・遠赤色LED電照効果の検証(R3:4か所)

・凍害回避効果の検証(R3:1か所)

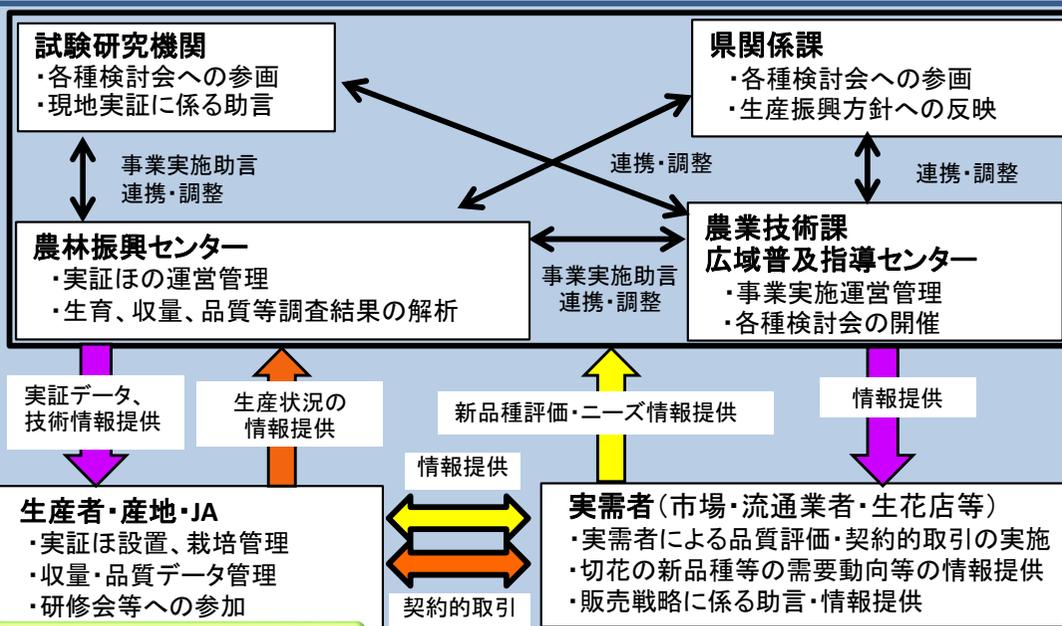
【実需者ニーズの把握・先進事例調査の実施】

・実需者ニーズ調査(品種・出荷規格・出荷形態等)3回

・先進事例調査(R3:千葉県)



実施体制図



課題と今後の対応

○電照開始までの温度管理

は種~電照開始(10/10)に23℃以下に遭遇すると開花の前進が確認されたことから、25℃以上の管理対策を検討する。

○電照期間の組合せ

電照1区では切花長が増加し、電照2区では開花期が前進したことから、生育に応じて両電照区を組み合わせた開花調節を検討する。

○開花期の品種間差の是正

「マリン」では他の2品種より開花が遅かったことから、は種時期や電照開始時期、代替品種について検討する。

○冬期の温度管理

冬期の開花が低温で推移した中、凍害はみられなかったものの葉の黄化やしおれが発生したことから、保温時期の見直しや被覆資材による保温効果を検討する。